

第9号 全国自立援助ホーム協議会 たより

編集者
新井 秀親 (夢舞台)
松木 良介 (経堂 憩いの家)
大橋 達也 (吾が家)
野原 知子 (マルコの家)
発行日：平成29年10月13日

《開催迫る！！》今年は杜の都 仙台での開催です

この号の内容

1 ページ

第24回 仙台大会
のお知らせ

2 ページ

第10回
全国自立援助ホーム長
研修会・総会 報告

3・4 ページ

ブロック化について

5・6 ページ

女性スタッフ研修会
報告

7 ページ

広報委員会より

全国自立援助ホーム協議会 第24回 仙台大会

2017年10月19日(木)～20日(金) 会場：仙台サンプラザ

朝夕が過ごしやすくなってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、10月になり全国大会が間近に迫ってきております。我が楽天イーグルスも負けが重なり、ハラハラと戦況を見守っている毎日であります。全国大会に向けてもハラハラドキドキな気持はありますが、それ以上に皆様と一緒に集まり研修をおこなうことが出来るということに対して、大きな喜びと楽しみな気持を抱いております。

ここ東北、宮城・仙台での全国大会を、『子ども達が希望を持って前向きに歩んで行くために我々自立援助ホームの職員ができることはなにか』ということについて、時に丁々発止し、時に額を集めて話し合い、各々を高めあう良い機会にできればと考えております。皆様に有意義な時間を過ごしていただけるよう、精一杯準備や進行をおこなって参りますので、よろしく申し上げます。

最後に、開催地である宮城県仙台市の魅力・見どころをお伝えしたいと思います。これを見て、皆様に仙台を魅力的に思ってもらえれば幸いです。

・仙台は『杜の都』と呼ばれるほど街と自然が見事に調和した都市です。特に『定禅寺通り』は直線道路に多くのケヤキが植樹されており、とても雰囲気が良いです。是非歩いてみて下さい。

・仙台駅は南北に細長く伸びているイメージで、駅前は大まかに『西口』『東口』に分かれています。西口には『エスパル』『PARCO』等の大きな商業施設があります。東口の『AER』『SS30』という商業施設には展望台が設けられており、仙台駅構内直結の飲食店やお土産屋、東急ハンズ等が入っている『エスパル東館』があります。是非ご覧ください。『西口』『東口』ともにお酒や料理の美味しい店がたくさんありますので、お気に入りのお店を探してみてください。

皆様にお会いしてお話できるのを楽しみにしております。

せんだんの家 赤坂 尚子



全国自立援助ホーム
協議会
第24回
仙台大会のお知らせ

第 10 回 全国自立援助ホーム長研修会・総会報告

第 10 回
全国自立援助
ホーム長
研修会
総会報告

月日：2017 年 4 月 24 日（月）～25 日（火）

会場：大阪市立 社会福祉センター

次第：

1 日目 研修会

- ・開会及びあいさつ（協議会会長 星 俊彦 氏）
- ・行政説明（厚生労働省雇用均等・児童家庭局家庭福祉課長 川鍋 慎一 氏）
- ・研修会
「新たな自立援助ホームの予算事業」と「社会的養護自立支援事業」の理解
講師：協議会副会長 平井 誠敏 氏
研修委員長 田村 崇 氏
質疑応答・意見交換
- ・新規ホーム紹介

2 日目 総会

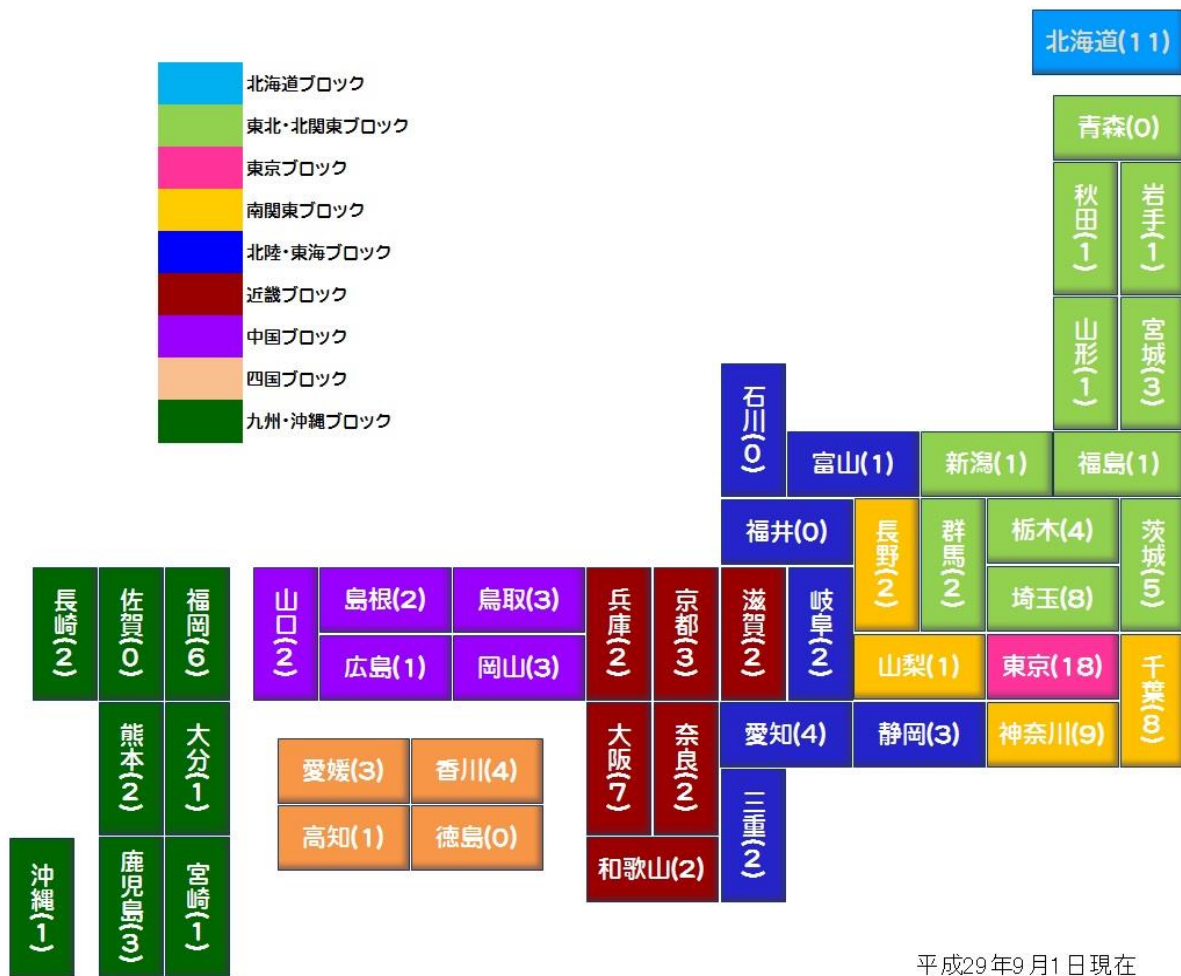
- ・規約改正並びに運営役員及び職務決定に関する内規及び地域ブロックに関する内規について
- ・2016 年度 事業報告・会計決算報告について
- ・2017 年度 事業計画・会計予算について
- ・閉 会

全国自立援助ホーム協議会 新役員

役職名	名前	所属
会長	平井 誠敏	慈泉寮
副会長	田村 崇	鳥取スマイル
事務局長	恒松 大輔	あすなる荘
事務局次長	松本 耕造	長谷場新宿寮
制度政策委員長	前川 礼彦	湘南つばさの家
制度政策副委員長	矢吹 富子	南風
調査研究委員長	屋代 通代	シーズ南平岸
調査研究副委員長	川口 充紀	わだちの家
研修委員長	串間 範一	ウイング・オブ・ハート
研修副委員長	大野 朋美	つばさ
広報委員長	新井 秀親	夢舞台
監事	藤川 栄治	ホームそらまめ
	小久保 志津子	カリヨンタやけ荘
相談役	遠藤 浩	城山学園
	藤野 興一	鳥取こども学園

ブロック化
について

平成 29 年 9 月 1 日現在、全国で 141 のホームが活動しております。
 全国自立援助ホーム協議会では、各ホームの活動充実と発展、地域連携を図るため、「ブロック化」を推進して参りました。全国を9つのブロックに分け、各ブロックの代表、副代表を選出、情報交換や研修会など活発な活動を期待しております。又、地域ブロックの活動費として、3,000 円にホーム数を乗じた金額を助成することになりました。
 全国自立援助ホーム協議会のホームページにも「ブロック活動紹介」のページを作成し、今後、他ブロックの活動情報が得られるよう更新していく予定です。
 尚、ブロック分布図と代表名、副代表名等については、以下の通りです。地域割りについては本内規施行後3年間を試行期間とし、改めて検討することとなりました。



平成29年9月1日現在

(数) はブロック所属のホーム数

平成 29 年 9 月 1 日現在

北海道ブロック (11)		
代 表	屋代 通子	シーズ南平岸 (札幌市)
副代表	本間 征二	カムイ (北海道)
東北・北関東ブロック (27)		
代 表	新井 秀親	夢舞台 (埼玉県)
副代表	赤坂 尚子	せんだんの家 (仙台市)
東京ブロック (18)		
代 表	松本 耕造	長谷場新宿寮 (東京都)
副代表	松木 良介	経堂 憩いの家 (東京都)
南関東ブロック (20)		
代 表	前川 礼彦	湘南つばさの家 (神奈川県)
副代表	本間 稚啓	人力舎君津 (千葉県)
東海・北陸ブロック (12)		
代 表	平井 誠敏	慈泉寮 (名古屋市)
副代表	大野 朋美	つばさ (三重県)
近畿ブロック (18)		
代 表	川口 充紀	わだちの家 (和歌山県)
副代表	竹原 裕昭	神戸市立 自立援助ホーム子供の家 (神戸市)
中国ブロック (11)		
代 表	田村 崇	鳥取スマイル (鳥取県)
副代表	土井 一成	おおもと荘 (岡山県)
副代表	内藤 直人	鳥取フレンド (鳥取県)
四国ブロック (8)		
代 表	矢吹 富子	南風 (高知県)
副代表	合木 啓雄	若者独立塾 丸亀おひさま荘 (香川県)
九州・沖縄ブロック (16)		
代 表	串間 範一	ウイング・オブ・ハート (宮崎県)
副代表	葛城 大一郎	みらい (大分県)

【女性スタッフ研修会 報告】

7月4日（火）～5日（水）神戸市の自立援助ホーム子供の家にて、平成29年度全国自立援助ホーム 女性スタッフ研修会が実施されました。

**女性スタッフ
研修会 報告**

1 日目

- ・講義 テーマ「退居者支援 アフターケア事業部の取り組みについて」
講師 そらまめなでしこ ホーム長 藤川 澄代 氏
- ・グループ討議

2 日目

- ・グループ討議（各グループ テーマに沿った議論）
- ・子供の家見学

「女性スタッフ研修会に参加して」

さざなみの家・奄美（鹿児島県） 野崎 恵理子

今年は、神戸市で行われた2日間の研修会に参加させて頂きました。私は、自立援助ホームスタッフになって4年目になりますが、女性スタッフ研修会は初参加でした。あえて「女性スタッフ研修会」となっていることから、普段とは少し違った雰囲気があるのでは、と思うと当日までとても緊張していました。しかし参加してみて、皆様とても気さくな方々ばかりで、すぐに緊張もほぐれました。

2日目の研修では各グループに分かれ、自由にテーマを設定し意見交換を行うという流れの中、進行して下さった子供の家のスタッフさんを中心に、様々な話を伺うことができました。「子どもの対応で困難を感じた出来事はどんなことがあったか」という話題になり、私がちょうど、その時期に抱えていた悩みの一つに、精神不安を抱えながらも、モデルを志望していた児童の話を見せてもらいました。SNSでの繋がりが大きく関わっていたケースだったのですが、結局、気持ちよく送り出す事ができない状態での解除になってしまい、これまでの対応にも自信がなく、ずっと気持ちの中で引っかかっていました。しかし、この話をした時に、頷いてくれる皆さんや「そういうの分かるよ」「女の子って難しいよね」「それで良かったんじゃないかな」などと話して頂いて、それまで引っかかっていたものが少し取れたような気持ちになり、女性スタッフだからこそ理解できる気持ちがあって、そういった事を話す事のできる、この研修の素晴らしさを感じました。他のホームからも具体的な事案を話して頂く中で、女性スタッフだからこそ、子ども達も甘えて来たり、精神的な面で頼ってくる事も多く、その分スタッフも様々な悩みや葛藤を抱えながら、日々子ども達と過ごしているのだと思いました。

話を聞いてもらえたり、アドバイスを頂けた事は私にとっても励みになり、これからまた、気持ちを新たに子ども達と向き合おうと思いました。私たちのホームは離島にあるため、本土との繋がりが難しいところがあるので、このように繋がりができたことはとても嬉しく思うと共に、大切にしていきたいです。

今回、研修に参加させて頂き、本当にありがとうございました。

トリノス（東京都） 三浦 淳子

女性スタッフ
研修会 報告

昨年4月から、18歳の男子1名からのスタートで1年が過ぎ、ただ今15歳から19歳までの男子6名との日々へと移っております。

私は25年間、0歳から3歳までの乳幼児と過ごしてきた経験上、当初は愛着形成の視点からみて支援している事が多く、そこを基盤に利用者の姿を捉えがちでした。0歳から3歳までは人格形成の基礎を作る時期と言われております。乳幼児期の関わりにおいては、愛着形成からの視点から辿っていくことで、その乳幼児期への必要な関わりが見つけやすくなります。また、そこにいる身近な大人が一番の理解者になり、自分を認めてもらえることで、その年齢に必要な発達段階も登れるようになる姿もみてきました。

しかし、自然と育まれていく愛着形成を辿っていない乳幼児にとっては、何度も何度も自分以外の事情で幾度と無く別れを繰り返すことで傷を持ち続け、何度も何度も自分を認めて受け入れてくれる人を探し続ける様子も見てきました。年齢だけは平等に1年ずつ重ねていきますが、人を信頼する基盤がないと発達年齢は重なっていかないことも分かりました。そして、15歳以上のこういった境遇を頑張って生きてきた、目の前の少年達と過ごしてみても感じていたことがあります。人と関わる事も避けるような言動と、成長していく実年齢合わせての発達年齢に必要な事が身につく環境に無かった事で、一般的な社会常識の中ではとても生きにくい状況になりがちなのだ、という事です。基本的な生活習慣や社会常識等々、実際生活している場では思春期真只中の年齢では入りにくいと感じ始めていました。ここで、今回の女性スタッフ研修会での藤川澄代先生のソーシャル・スキル・トレーニングは理にかなっていて、私が求めていた支援方法だったので。有名でカッコイイ、プロの方からの情報を得るということは、この年齢の利用者さんたちには実に説得力があり、気づきや学びがしっかりと身につくのではないかと思います。是非、取り入れたいと思いました。取入れ方は、今後の課題です。

今回は参加者約60名、過去最大規模の女性スタッフ研修会となりました。

1日目、藤川先生による講義では、大阪アフターケア事業部主催の「ソーシャル・スキル・プログラム」の内容、講師の充実ぶりに驚き、「施設での生活と社会とのギャップを埋めることが、子ども達が安心して自立できる手助けになる」という言葉が印象的でした。また、今回は研修委員さんの粋な計らいで1日目、2日目ともグループ討議の時間を長く設定して頂き、皆さん講義の感想や日頃の悩みを存分に話し合うことができたのではないのでしょうか。会場となった子供の家は地域の子育て支援事業も行っているようで敷地も広く建物も立派。男女混合定員ですが男女の居住スペースは区切られ、簡単に行き来ができないよう工夫されていました。ホームにやって来る子の中には、男女問わず性被害や性的虐待を経験しトラウマを抱えた子もおりますので、安心して生活できる環境は大切だと感じました。

会場となった神戸・子供の家の皆様、研修委員の皆様、参加された皆様、ありがとうございました。山あり、海ありの港町神戸。心もお腹もしっかり満たして家路に着きました。

広報委員 野原 知子

広報委員会より
お知らせ

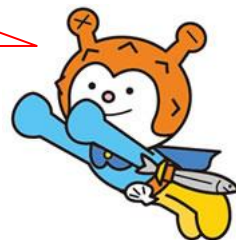
「こんな事で悩んでいるのはうちだけ？」
 「こんな時、皆どうしているんだろう？」
 「法律とか制度って、よく分からないけど・・・誰に質問したらいいの？」
 「協議会たより」では、そんな皆様の“聞きたい、知りたい”声にお応えします！
 また、「先駆的な取り組みをしているので、是非、皆に知って欲しい！」
 そんな情報も大歓迎です。皆様の忌憚ないご意見、ご要望を広報委員までお寄せ下さい。（委員については表紙右上をご参照下さい。）

「全国自立援助ホーム協議会 ホームページ」

助成金の情報、研修会の要綱、各ブロックの情報や取り組み、
 全国の自立援助ホーム名簿（各ホームのHPにジャンプできます）etc・・・



「自立援助ホーム」で検索！



リンク希望のホームは、広報委員までお知らせ下さい

【編集後記】

先般の女性スタッフ研修会で、参加者の方に広報委員会よりアンケートを取らせていただきました。結果はごくあたりまえでもあり、又、興味深い結果が出たなという感もあります。これは、広報委員会の人材確保に向けた取り組みに、その立場から何が出来るかということを検討したかった、という試みです。そのアンケート結果を一部紹介します。現在の職場の好きなところは？という問いに『アットホームで人間関係が良好なところ』、改善してほしいところは？の問いに『職員が少なく、一人で判断し動くことが負担』、という回答が多数を占めました。就職の決め手は？という問いに『この事業に関心があった』が多数ありましたが、それ以上に『責任者の熱意や人柄・職場の雰囲気』をあげた方が多数を占めたのです。こんな結果から、人材確保の一つのヒントが隠されているような気がします。

杜の都『仙台』での全国大会もいよいよとなりました。子どもが生きる力を獲得するように、我々も互いにエネルギーを獲得しあう大会であることを期待します。今回の大会は『当事者の星』草間さんに、まずはエネルギーをいただきましょう。

広報委員長 新井 秀親